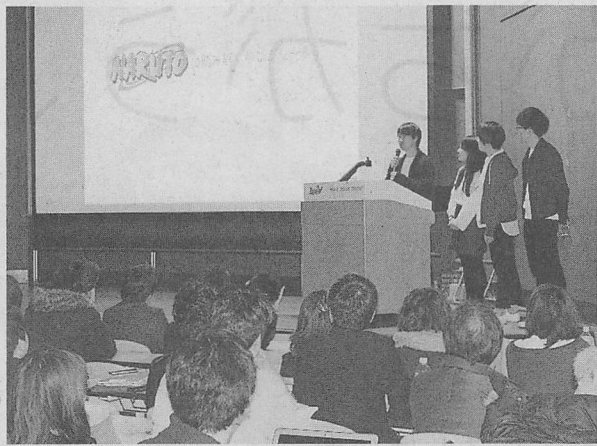


「学び」の新手法 発想競う

67大学の650人がコンテスト

与えられたテーマによる商品やサービスでアイデアを競う、大学生のためのブランドデザインコンテスト「BrandCo! (ブランドコ)」（東大教養学部・博報堂ブランドデザイン主催、朝日新聞社後援）が12日、目黒区の東大駒場キャンパスで開かれた。

東大で決勝プレゼン



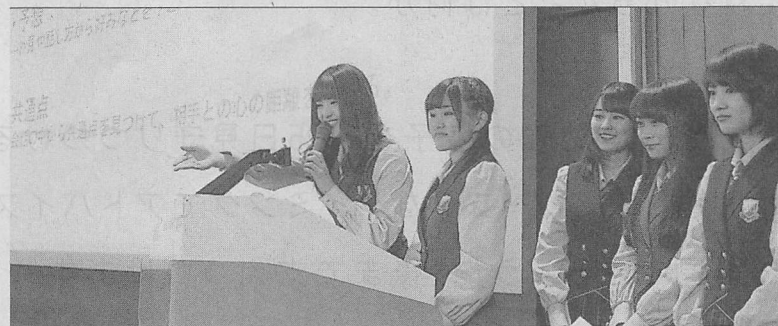
壇上でブランドデザイン案を発表する大学生。東大駒場キャンパス

「調べる」「考える」「つくる」といった力を高めるのが狙いで、3〜6人でチームを組んだ大学生が調査や分析を行い、魅力的なブランド案を作り出す。4回目の今回は「学び」をテーマに、全国67大学から147チームの約650人が

が参加した。

この日は2月にあった予選を勝ち抜いた24チームがプレゼンテーション。アンケートや偉人の言葉、人間国宝へのインタビューなど様々な手法で「学び」を定義づけた後、携帯電話から離れて学びに集中する方法、

会議を円滑に進めるお菓子の活用などを発表した。審査の結果、アメをなめることで勉強時間を管理する案を考えた神戸大と関西学院大の学生によるチーム「つくしーず」が優勝した。出場した早稲田大4年の植松俊平さん(22)は「どうすれば関心を持ってもらえるのか、言葉の使い方やアイデアの見せ方の勉強になりました」と話した。



乃木坂46は「初対面克服法」

コンテストには特別ゲストとして人気アイドルグループ「乃木坂46」も参加した。秋元真夏さん(22)、生田絵梨花さん(19)、伊藤かりんさん(22)、松村沙友理さん(23)、若月佑美さん(21)の5人は乃木坂46のメンバーにアンケートを取り、3回の会議を重ねてアイデアを考えた。

テーマの「学び」について様々な意見が出るなかで「アイドル特有で学んでいること」としてブランド化したのが「乃木坂流初対面克服法」だ。CDを出して各地で握手会

を開くと数万人単位のファンと触れあう。その経験をもとに、相手の特徴を読み取る、答えやすい質問をするといったコミュニケーション力を高める方法について考案。本にすることや「逆握手会」といったイベントのアイデアを発表し、会場から大きな拍手を集めた。

発表を終えたメンバーは「自分の経験を人に伝えるのは改めて勉強になった」「思いつきの案でも、みんなで話し合うと意見が練られた」と感想を述べた。(加藤勇介)